

I. 会社概要

1. 会社の名称	株式会社 エス・エス・ジー
2. 本社所在地	北海道札幌市東区北25条東21丁目1-5
3. 電話番号	011-780-3000
4. URL	http://www.ssg.gr.jp/ (現在作成中)
5. 設立年月日	平成13年1月4日
6. 資本金	11百万
7. 上場の有無(店頭/2部)	無し
8. 業種・業態	自動車部品の卸販売
9. 代表者名(年齢)	浜田 泰臣(54歳)
10. 情報戦略責任者名(年齢、役職)	古田 欽一(46歳 取締役)
11. 直近の売上高(百万円、年)	1343百万 (2005年)
その1年前の売上高(百万円)	1190百万 (2004年)
その2年前の売上高(百万円)	71百万 (2003年)
12. 直近の経常利益額(百万円、年)	9百万 (2005年)
その1年前の経常利益額(百万円)	3.5百万 (2004年)
その2年前の経常利益額(百万円)	1百万 (2003年)
13. 現在の従業員数(うち社員数、年)	12名 (2005年)
その1年前の従業員数(うち社員数)	12名 (2004年)
その2年前の従業員数(うち社員数)	12名 (2003年)
14. IT部門の有無(名称)	無し
15. IT部門の責任者名(年齢、役職)	古田 欽一(46歳 取締役)
16. IT部門の人数(うち社員数)	無し
17. 直近のIT関連の年間費用(人件費も含む、百万円、年)	13百万 (2005年)
その1年前のIT関連の年間費用(人件費含む、百万円)	1百万 (2004年)
その2年前のIT関連の年間費用(人件費含む、百万円)	10百万 (2003年)

平成18年度IT経営百選応募記入シート(2/2)

株式会社 エス・エス・ジー

18. 事業・商品・サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> ① リサイクル自動車の部品生産、販売事業者47社の出資企業 ② 自動車部品及びその付属品の再生品、最利用品の販売斡旋事業 ③ 自動車部品及びその付属品の物量情報の収集及び販売業務の請負並びにコンサルタント業務 ④ 産業廃棄物、特別管理廃棄物の処理業務及び資源のリサイクル・有効利用業務 ⑤ 損害保険会社及び、リース会社から道内で発生するELV(使用済自動車)の参加企業へ斡旋業務 ⑥ 参加企業の決済代行業務
19. ビジネスの特徴	
① 強み	<ul style="list-style-type: none"> ① 道内47社52拠点をコンピュータネットワークで接続し、在庫管理を行っている。 ② 1985年よりオフィスコンピュータによる現在の基礎となる在庫管理システムを構築し運用を行なった。 ③ 道内の各地域に根ざしたリサイクル部品、リビルト部品の生産及び販売を行っている。 ④ 損害保険会社及び、リース会社からELVの引取及び処理の迅速化が評価されている。 ⑤ ELVの引取から中間処理までの対応を行なうことができる。 ⑥ 平成16年度 北海道IT活用最優秀賞受賞 ⑦ 平成16年度 経済産業省推進IT経営百選「奨励賞企業」に選定
② 付加価値	<ul style="list-style-type: none"> ① 道内全域をカバーするELVの引取業務を行なっている。 ② 販売部品にグループ独自の保証規定を設けている。 ③ 常にシステムの運用改善を提案し、システムアップを全国に提案し続け採用されている。 ④ 非専門職でも操作可能な部品検索システムの構築を行なっている。 ⑤ リビルトメーカーとの提携により、ネットワーク上に提供し販売力のアップになっている。
③ こだわり	<ul style="list-style-type: none"> ① 北海道内に特化しているグループでありながら、全国への情報発信を行なっている。 ② インターネットを利用し全国655社、260万点の在庫からリサイクル部品の受発注を行なっている。 ③ 常にシステムの改善、提案を行ない、業界紙に掲載されている。 ④ グループウェア導入により、地域差のあるインターネット回線状況に対応。 ⑤ 車輛管理を行なうことにより細かな部品にも対応。
④ 独自性	<ul style="list-style-type: none"> ① 1985年に業界初の自動車部品分解登録をオフィスコンピュータにより行なった。 ② 電子化による、部品詳細情報を迅速にユーザーへ提供し効率化とコストダウンを図っている。 ③ 1987年には札幌市内4社のネットワークを構築し在庫のデータベースを運用。 ④ 1992年には13社によりコム博に出展しリサイクル部品のアピールを行なった。 ⑤ 1996年に1画面で受注、発注、売上、仕入、発送を行なうシステムの運用を開始した。 ⑥ 現在はシステムをパソコンに移行することにより道内47社52拠点で運用している。 ⑦ 業界初となる部品番号による互換性部品検索システムへと発展している。

Ⅱ. 自己評価表1/2(ビジネス戦略・経営改革の視点)

会社名 株式会社 エス・エス・ジー

1 ビジネス戦略・経営改革の視点	評価を行なうに当たっての具体的事実
①業績の好調さ	<ul style="list-style-type: none"> ① 法人組織以降、流通額が毎年10%以上となっている。 ② 法人登記以来黒字経営となっている。 ③ 毎年10%以上の株主配当を行なっている。 ④ 参加会員の在庫点数が毎年10%以上の増加をしている。 ⑤ 積極的にELV事業とリサイクル部品の提供を行なっている。
②ビジネスモデル	<ul style="list-style-type: none"> ① 自動車部品をコンピュータに自動分解登録システムを構築。 ② 自動車の形状、装備品を判断し構成部品を自動判断している。 ③ 参加会員間及び、提携グループ間でファクタリングを行う事による経営効率化を行なった。 ④ 業界初のリサイクル部品互換性検索システムの構築を行なっている。 ⑤ グループウェアの活用により参加会員への情報発信を行なっている。 ⑥ 損保と参加会員で独自のELVオークションシステムの構築。 ⑦ 安価で安全なELV処理機器の作成、販売を行なっている。
③経営の自立化	<ul style="list-style-type: none"> ① 会員各社のISO14001取得へのアドバイス ② 地域に根ざした販売業務を行っている。 ③ 販売部品にグループ独自の保証規定を設けている。 ④ 再利用部品以外に再生部品への販路拡大を図っている。 ⑤ 現場に即したELVの処理機器を独自開発を行い、安価で作業性、安全性の向上を図り、全国に販売を行なっている。 (反転機、廃油回収機、ペール缶回収ポンプ)
④経営のオープン化	<ul style="list-style-type: none"> ① 月次決算内容を株主へ公開している。 ② 隔月で会員へ年間、月間の報告を行なっている。 ③ 参加会員へグループウェアを利用し情報を発信している。 ④ 主要リビルトメーカーと意見交換会を都度実施している。
⑤満足度経営	<ul style="list-style-type: none"> ① 会議、研修で使用するパソコンを18台設置している。 ② 参加会員へ年3回程度研修会を実施している。 ③ 毎年研修旅行を実施している。 ④ 60歳以上の参加会員代表者を対象の青春クラブを設置し年1回の旅行を実施している。

Ⅱ. 自己評価表2/2(IT高度活用の視点)

会社名 株式会社 エス・エス・ジー

2 IT高度活用の視点	評価を行なうに当たっての具体的事実
①コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ① 独自メールサーバーを構築し全参加会員にメールアドレスを配布し全会員が運用を行なっている。 ② 道内各地の参加会員にグループウェアを構築し情報を発信している。 ③ 隔月で参加会員との会議を行なっている。 ④ 全参加会員のフロントマンに対して年6回、品質、流通、生産の研修会を行なっている。
②営業・マーケティングの改革・新商品や新サービス開発への活用	<ul style="list-style-type: none"> ① 在庫データに画像を添付する事による確認作業の効率化。 ② リビルトメーカーと提携によりリビルト部品の流通活性を行っている。 ③ 提携損保との報告業務の電子化を行なっている。セキュリティ(個人情報保護法)にも積極的に取り組んでいる。 ④ 業界初のELVの適正価格を表示するシステムによる公正化を図っている。(リサイクルマッチシステムを会員全員で取り組んでいる、業界紙に特集された)
③プロセスの高度化・連携	<ul style="list-style-type: none"> ① リサイクル法施行により、ELV処理の適正処理と効率化を図り、リサイクル率の向上を図っている。 ② リサイクルマッチシステム(車検証の情報でその車輛の買入れ金額・自賠責保険/重量税還付金額の一発表示)の導入により、消費者への買入価格の透明性を図っている。
④人材・ノウハウの高度活用・高度な経営管理への活用	<ul style="list-style-type: none"> ① 個人が蓄積していた車輛別の部品互換性などのノウハウを、必要に応じて表示するシステムの構築により情報の共有。 ② 参加会員のフロントマンによる会議を行い、意見交換を行なっている。 ③ 次世代(継承者)の勉強会実施により後継者の育成を図る。 ④ ビジネスマナーの講習会の実施により全参加会員のレベルアップを図る。 ⑤ 各種会議、研修を行う為の60名収容の会議室を有し、パソコンでの講習、プロジェクターを整備し活用を行なっている。
⑤情報セキュリティ対策	<ul style="list-style-type: none"> ① 全参加会員がネットワークに接続しているコンピュータ112台全てにウイルス対策ソフトを導入。 ② メールサーバーは外部委託を行い、監視カメラ付で管理されている。 ③ メールサーバーの回線は専用線と光二重化を行っている。 ④ 過去2回個人情報保護法の勉強会を実施している。